

A 05-12 | 解答・解説



(1) 債権・債務の相殺

(借) 買掛金	150,000	(貸) 売掛金	150,000
---------	---------	---------	---------

(2) 貸倒引当金の修正

(借) 貸倒引当金	3,000 ⁰⁶⁾	(貸) 利益剰余金当期首残高	2,000
(借) 利益剰余金当期首残高	800 ⁰⁹⁾	貸倒引当金繰入	1,000 ⁰⁷⁾
法人税等調整額	400 ¹⁰⁾	(貸) 繰延税金負債	1,200 ⁰⁸⁾
		親会社・固定負債	

06) $150,000 \text{円} \times 2\% = 3,000 \text{円}$

09) $2,000 \text{円} \times 40\% = 800 \text{円}$

07) $3,000 \text{円} - 2,000 \text{円} = 1,000 \text{円}$

10) $1,000 \text{円} \times 40\% = 400 \text{円}$

08) $3,000 \text{円} \times 40\% = 1,200 \text{円}$

※ 前期末の子会社の貸倒引当金を修正する場合の税効果の処理は、本試験での本試験での出題可能性が低いと割愛しています。

07 | 繰延税金資産と繰延税金負債の表示



▶▶ 繰延税金資産は投資その他の資産(固定資産)に、繰延税金負債は固定負債に表示します。

繰延税金資産と、繰延税金負債がある場合は、お互いを相殺して残った科目を、連結財務諸表上、表示します⁰¹⁾。

ただし、親会社に属する繰延税金資産と子会社に属する繰延税金負債のように、会社が異なる場合には相殺できません。



01) 本試験においては、「繰延税金資産と繰延税金負債を相殺しない旨」が記述されていることが多々あります。問題文をよく読んでから解くように心がけましょう!